

「木になる紙」づかい宣言

平成21年4月23日

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会

地球温暖化の防止に大きく貢献する間伐の推進が強く求められている。

間伐を推進するためには、山側での努力はもちろん、木材の利用に携わる企業、団体等の積極的な取組が期待される。また、これら取組を促進するためには、行政による各種施策に加え、県民、一般企業、団体等の協力が不可欠である。

このため、九州の間伐材が使用されている紙製品の利用を積極的に行政、企業、団体、県民等にうったえるとともに、九州間伐紙の売り上げの一部を間伐推進のために活用する仕組みを構築し、間伐の推進に貢献することとする。

具体的には以下の取組を推進することとする。

- 1 「木になる紙」シリーズの商品の普及を通じて、間伐推進の意義を広く普及啓発する。
- 2 「木になる紙」シリーズの商品の自らの調達を進めるほか、国（出先機関）、市町村、企業、NPO、各種団体などへ積極的な利用を働きかける。
- 3 原料となる間伐材の安定供給を推進するため、関係者が相互に協力する。
- 4 間伐材の利用を推進するため、すでに商品化された「木になる紙」シリーズの商品（ファイル、封筒、コピー用紙）のほかの製品化を進める。
- 5 「木になる紙」シリーズの商品の販売による収益の一部を用い、山元への還元や間伐材の利用促進に係る普及活動を推進する。
- 6 供給に当たっては、「国民が支える森林づくり運動」の趣旨を踏まえ、関係者が信義に則り、協力し、誠実に対応する。